

新市民体育センターの整備について

県立彦根総合運動場が第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会の主会場に決定したことから、主会場整備に伴い市民体育センターの移転が必要となりました。このため、新たな市民体育センターの整備に関し、検討を進めておりますが、この度、市として新施設の規模等および建設候補地を決定しましたので報告いたします。

記

1 新市民体育センターの規模等

- メインアリーナの規模は、ハンドボールコート2面（バスケットボールコート3面）を確保できる広さとする。
- メインアリーナの観覧席は固定席および可動席を合わせて2,000席以上の座席の確保に向けて検討する。
- サブアリーナの規模は、バスケットボールコート1面を確保できる広さとする。

2 新市民体育センターの建設候補地

- 南彦根駅西側に立地する「ひこね燦ぱれす」南側に隣接する市有地を含む一帯の土地とする。

3 主な決定理由等

- 検討委員会での4回にわたる議論および中間報告、ならびに教育委員会からの申出を尊重し、そして庁内関係部局長で協議を行い最終決定したもの
- 1について
 - ・メインアリーナの規模については、現在の市民体育センターの利用状況、また中高生やトップアスリートが参加する大会の誘致も視野に入れて決定したもの
 - ・メインアリーナの観覧席については、県内プロバスケットボールやバレーボールの公式戦動員数を参考にして決定したもの
- 2について
 - ・新市民体育センターを市民の利用しやすい施設とするために総合的に判断したもの
 - ・特に、駅からのアクセスに優れていること、敷地の大部分が市の所有であり、事業遂行上の経済性、円滑性に優れていること、市の中央部に位置していることを評価し、決定したもの